



IMPUL112S

2ℓスポーツカーを凌駕する 1.2ℓコンパクトハッチ登場

日産ノートをベースにボディ、エンジン、シャシーのリセッティングを行ったインパル 112S がついにデビュー。
鷹は隠していた爪をむき出し、さらに研ぎ澄まして飛び立った

photo:izm text:諸星陽一

<http://www.impul.co.jp/> ●問い合わせ先=ホシノインパル TEL.03-3439-1122

**キーワードは子育て家族の
カーライフを幸せにする**

高い燃費性能と実用性に富み、爆発的なヒットを飛ばしている日産ノート。ノーマル車もそこそこ走りはするのだが、D・I・G・Sやメダリストに搭載されているスーパードライバー付きの直噴エンジンは、まだまだポテンシャルを秘めているように思えてならなかった。

そんな悶々とした気持ちを一気に吹き飛ばしてくれたのが「インパル112S」だ。

インパルではドレスアップ＆ライトチューンを施したコンパクトカーであるインパルノート」をすでにリリースしているが、今回試乗した112Sはそのインパルノートを上まわる性能を与えられたモデル。

車名に数字3ケタが使われるのはインパル代表の星野一義がその特別な走りに納得したあかしだ。

専用カラーのホワイトのボディにレッドビークセントがあしらわれた試乗車には、フルパッケージシートが装着され、安心感たっぷり。エンジンを始動しクルマを動かし始める。ほんの5m動かしただけで、クルマ全体に一体感が漂っていることを感

じる。各種のブレースバーにより、ボディはしっかりと固められている。

エンジンはノーマルでも低速からしっかりとトルクを発生しているが、この112Sはそのトルク感がさらに増している、力強さをひしひしと感じる。

アクセルを踏み込みエンジン回転を上昇させていくと、トルクはさらに増していく。エンジンは専用のパワーブリーリーにより過給圧をアップ。それをハイパワーコントロールユニットとスロットルバルブでコントロールしている。高速道路などでは気をつけないと、あつという間

インパルのオリジナルグリルにのみ装着ができるイルミネーション付きのエンブレム。オプション扱いとなっているが、多くのユーザーがチヨイスするエクステリアドレスアップの決め手となるパーツ





に制限速度を超えてしまふ。
しかも、燃費を稼ぐことができるエコモードは残されているし、アイドリングストップもちゃんと効くので、無駄にガソリンを使うこともない。抑えるべきところでは抑え、楽しむべきところでは楽しむセッティングなのだ。

しっかりとしたトルクを発生している1.2Sだが、そのトルクを受け止めるシャシー性能

の高さにも感心させられる。装着タイヤはブリヂストンのポテンザS001という、ポテンザシリーズのフラッグシップモデル。これをインパルオーリンズのシヨックアブソーバーでコントロールする。そのセッティングのレベルの高さは、さすがインパルという印象。

全体としてはしっかりと硬めのセッティングな

のだが、動きが制限されている感じはなく、コーナーではボディがゆつくりとストレスなくロールし、戻ってくる。伸び側の減衰力がしっかりと確保されている印象で、足まわりはまとまり感のある動きをする。

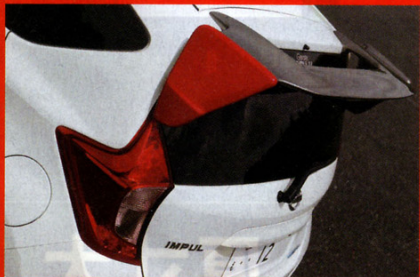
6ポッドのブレーキは強力な制動力でありながら扱いやすい



バツグンのホールド性をもつフルバケットシート。乗り心地も悪くなく、長時間のロケでも不満はなかった



ストラットタワーバーが装着されるエンジンルーム。スロットバルブもチューニングタイプに変更されている



大迫力のリアウイングを装着。翼端板とリアコンビランプが連続性のあるデザインとなっている



ブレーキは6ポッドタイプで、ローターも専用品を使う。ショックはインパルオーリンズを採用



インパルノートでは装着されないトランク内のブレスバー。このほかにリアバンパーの中や前後のフロアアンダーにもブレスバーが追加装着されている

セッティングで中低速時も楽々。インパル1.2Sに乗って、2つの大きなことを再認識した。それはノートそのものがもつ基本的な性能の高さとそのポテンシャルを引き出すことに長けるインパルの技術力の高さ。

ノートという爪を隠した鷹がふたたび爪を出すきっかけを与

えたのがインパル。1.2という小排気量モデルでありながら、2.0スポーツカーに襲いかかれる鋭い爪をむき出したノートは、もはやホットハッチと断言できる存在となった。これほどの高性能車が、ディーラーで注文し購入可能というのだから驚きはさらに増す。

